

●特長

この時計は、100本の計測タイムをメモリー（記憶）し、呼び出すことができます。また、メモリーが100本以内であれば、分割（チャンネル）したメモリーできます。（クロノグラフ機能が測定した結果から、リコール機能を使いベストラップタイム・平均ラップタイムを呼びだせるランナー向けスポーツウオッチです。）
さらに、3チャンネルアラーム機能、タイマー機能をあわせもった多機能のデジタル時計です。

- 「時刻・カレンダー機能」
 - 日、曜日、時、分、秒を表示し、12時間制/24時間制いずれかの時刻表示を選択できます。
- 2058年（12月31日）までうるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。

- 「クロノグラフ（ストップウォッチ機能）」
 - 1/100秒単位で計測できる最大計測時間9時間59分59秒99のストップウォッチ機能です。
- ラップタイム、スプリットタイムを最大100本メモリー（記憶）することができます。
- メモリーが100本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリー一することができます。

「リコール機能」

- メモリーしたデータ（ラップ回数、ラップタイム、スプリットタイム）を計測後リコール（呼び出し）することができます。

- ベストラップ表示、平均ラップ表示ができます。

- 「タイマー機能」
 - 1分から60分まで1分単位で設定ができます。

「アラーム機能」

- 設定した時刻（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラーム機能付です。

- 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

「オートパネライト機能」

- あらかじめ設定する、ボタン操作のたびに、約2秒間ライトが点灯します。（修正する時は除く）

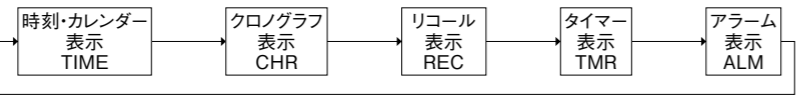
「内部照明（パネライト）機能」

- 専用ボタで操作より、どの表示状態でも1回押して約2秒間ライトが点灯します。

■ボタンの名称と表示の切替



- ボタンAを押すごとに、次の順序で切り替わります。

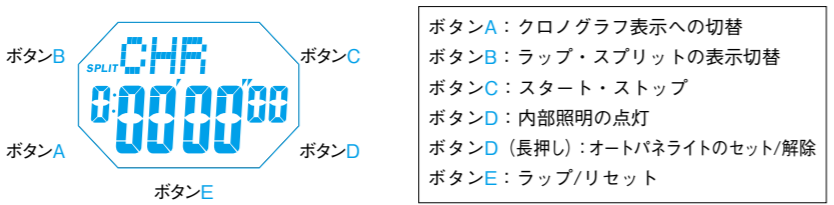


※操作確認音がセットされていますと、表示を切り替えることに「ピッ」と鳴ります。（操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。）※表示が切り替わるタイミングはボタンを押した後2秒以内で遷した時となります。

■クロノグラフの使いかた

- 1/100秒単位、最大計測時間は9時間59分59秒99です。
- ラップタイムまたはスプリットタイムを表示し、ベストラップタイム、平均ラップタイム等をメモリー（記憶）します。
- ここで計測したラップ/スプリットタイム、およびベストラップ・平均ラップタイムは、リコール表示で呼び出することができます。
- ※詳しくは「リコールの使いかた」を参照ください。
- 最大100メモリー（記憶）できます。
- 測定した値はチャンネル（ch）ごとに分割してメモリー（記憶）することができます。

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「クロノグラフ表示」状態にしてください。



●メモリーの考えかた	
計測の使いかた	メモリーの使用量
1 スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
2 スタート→ストップ/再スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
3 スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
4 スタート→ストップ/再スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
5 スタート→ラップ→ラップ→ストップ→リセット	5～6メモリー

※ベストラップタイム、平均ラップタイムを関係のため、1つもデータを取ると、最低3つのメモリーを使います。1チャンネル(ch)のみ使用した場合は100メモリー(記憶)できますが、chを複数使用した場合はメモリーの合計が100に達しません。

※ラップ/スプリットを計測した際、上段にラップ回数と「FUL」と表示が交互に点滅した場合、ラップ/スプリットタイムのメモリーができません。メモリーがいっぱいになっているという意味です。その計測でのラップ/スプリットタイムは呼び出せません。

※クロノグラフ機能を使用するとき、上段に[F-0]と表示されていた場合は、ラップ/スプリットタイムのメモリーができません。「リコールの使いかた」を参照してください。

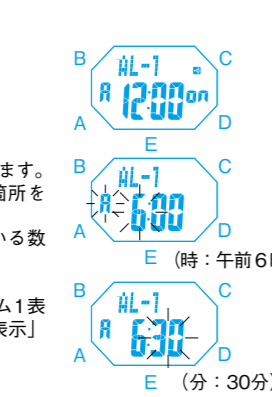
■アラームの使いかた

- 設定した時間（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラームです。
- 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。



- (2) アラームの使いかた
 - 3チャンネルとも、使いかたは同じです。
 例：「アラーム1」のところで、アラーム時刻を「午前6時30分」にセットする場合
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。
 - ボタンEを押して「AL-1」を呼び出します。
 - ボタンAを長押しすると「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。
 - ボタンEを押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
 - 合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（ボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）
 - ※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - セットが終わりましたらボタンAを押して修正状態を解除して「アラーム1表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラーム1表示」へ自動的にもどります。



■電池についてのお願いとご注意

- (1) 最初の電池
 - お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
- (2) 電池交換
 - 電池交換は、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。
 - 電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
 - 電池交換は、保証期間内でも有料となります。
 - 電池交換等で裏蓋を開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

- (3) 電池寿命切れ予告機能
 - この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。
 - ※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2～3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

電池交換後には、万一異常な表示（読めない表示など）になった場合、以下の操作をしてください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

- システムリセットのしかた
 - ボタンACDE4つを同時に2～3秒間押し続けてください。表示が一旦消え、ボタンを離れた後「1月1日BAM12時00分00秒」になります。
- ご使用前に下記の順番で操作してください。
- ①時刻・カレンダー合わせ ②アラームの設定

■製品仕様

- (1) 水品振動数 ……32,768Hz
- (2) 精度 ……平均月差±20秒（気温5℃～35℃において腕につけた場合）
- (3) 作動温度範囲 ……-5℃+50℃
 - ただし表示機能は 0℃+50℃
- (4) 表示体 ……TN
- (5) 使用電池 ……小型リチウム電池 CR1620 1個
- (6) 電池寿命 ……約3年
- (7) 電池寿命切れ予告機能
- (8) 電子回路 ……発振・分周・駆動回路（C＝MOS－LSI 1個）

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■時刻・カレンダーの合わせかた

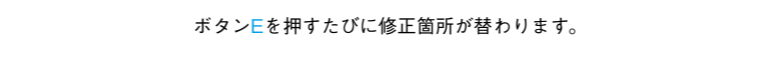
- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
- ボタンB

ボタンC
- ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切替
 ボタンA (長押し): 時刻・カレンダー合わせ状態の呼び出し
 ボタンB: 修正箇所の合わせ (戻り)
 ボタンC: 報時のセット/解除、修正箇所の合わせ (進み)
 ボタンD: 内部照明の点灯
 ボタンD (長押し): オートパネライトのセット/解除
 ボタンE: 修正箇所の選択

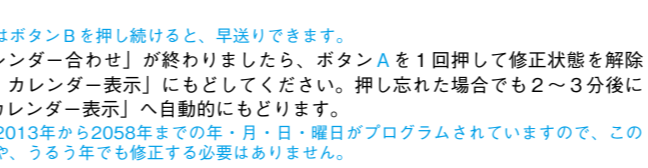
- (2) 時刻・カレンダーの合わせかた
 - ①ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ②ボタンEを1回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。

※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンEとボタンCが同時に押された状態です。その場合はABCDEいずれか1つのボタンを2回押し、「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。次にあらためて、(2)の①から合わせなおしてください。

ボタンEを押すたびに修正箇所が変わります。



- ③ボタンEを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンBまたはボタンCを押すと「00」に合います。
 - ※時刻合わせが30～59秒の時、ボタンBまたはボタンCを押すと1分繰り上がって「00」に合います。時刻合わせは、電話の時鐘サービス（TEL1.17）が便利です。
- ④合わせたいところを選択したあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（反対にボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）（「秒」[12/24H]を除く。）
- ※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
- ※「時刻・カレンダー合わせ」が終了しましたら、ボタンAを1回押して修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
- ※カレンダーは2013年から2058年までの年・月・日・曜日がプログラムされていますので、この間、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。

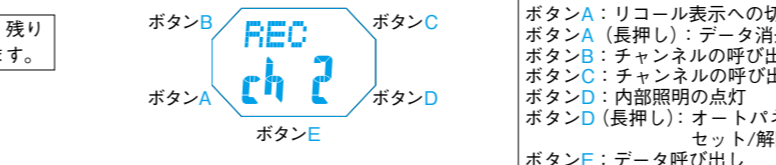


④調整が終わりましたら、ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」状態へ自動的にもどります。

■リコール（呼び出し）の使いかた

- 最大100メモリー（記憶）できます。
- チャンネル（ch）ごとにメモリーを呼び出すことができます。
- ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。（1つのデータの場合は、ベストラップタイムを表示します。）

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
 - ※はじめに最新のチャンネルを表示します。

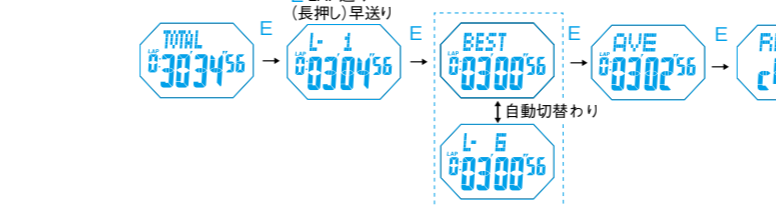


- (2) リコールの使いかた
 例：チャンネル2（ch2）を見たい場合
 - ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
 - ※はじめに最新のチャンネルを表示します。
 - ※クロノグラフで選択している内容でリコール表示します。ラップタイムをリコールする場合はクロノグラフがラップタイム表示になっていることをお確かめください。

- ②ボタンBまたはCを押して、呼び出したいチャンネル（ch-2）を選びます。

- ③ボタンEを押して、ラップタイムの確認ができます。次の順序で確認できます。

トータル→1→2→・・・→ベストラップタイム→平均ラップタイム→ch2

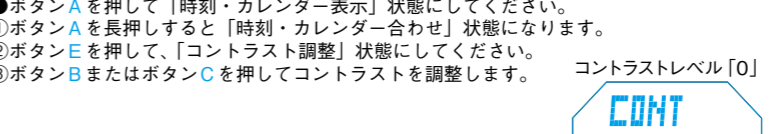


※ベストラップ表示する時は、「BEST」表示と「E-※」が交互に表示されます。

- ④他の測定結果を見たい場合は、ボタンBまたはCを押して見たいチャンネルを選び、③のように確認してください。

※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンEとボタンCが同時に押された状態です。その場合はABCDEいずれか1つのボタンを2回押し、「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。次にあらためて、(2)の①から合わせなおしてください。

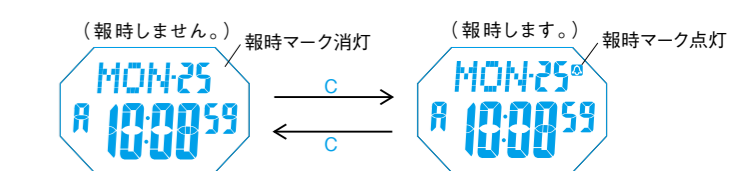
- (3) コントラスト調整の合わせかた
 表示のコントラスト（明るさ）の調整ができます。初期化された時及びオールクリア時のコントラストは「0」設定です。
 - ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
 - ①ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ②ボタンEを押して、「コントラスト調整」状態にしてください。
 - ③ボタンBまたはボタンCを押してコントラストを調整します。



- ④調整が終わりましたら、ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」状態へ自動的にもどります。

- (4) アラーム音の試し聞き（サウンドデモンストラーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除
 - 「時刻・カレンダー表示」でボタンCを押すごとに報時・操作確認音のセットと解除ができます。

- また、ボタンCとボタンEを同時に押し続けると「アラーム音の試し聞き」ができます。

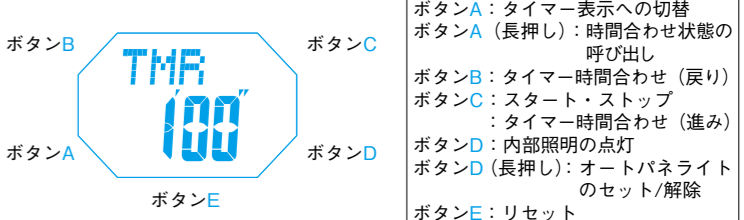


- (5) オートパネライトのセットと解除
 - 各表示状態でボタンDを2秒間押し続けるごとに、オートパネライトのセット（マーク点灯）と解除（マーク点灯の消灯）ができます。

■タイマーの使いかた

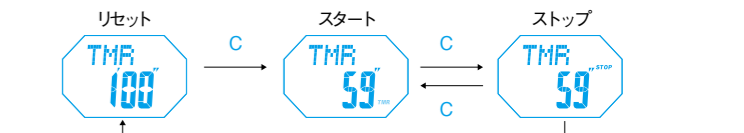
- ・タイマーは1分から60分まで1分単位で設定ができます。

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「タイマー表示」状態にしてください。



- (2) タイマー時間の合わせかた
 - ①ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。
 - ※タイマー設定時間の初期値は1分です。
 - ※タイマー時間の合わせはタイマーリセットされた状態でおこなってください。
 - ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー表示」状態になり、現在設定されているタイマー時間が点滅表示されます。
 - ③ボタンC（進む）ボタンB（戻る）でタイマー時間を合わせます。
 - ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - ④ボタンAを押して「タイマー表示」状態にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「タイマー表示」へ自動的にもどります。

- (3) タイマーの使いかた
 - ①ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。
 - ②ボタンCを押してタイマーをスタート/ストップできます。
 - ③ボタンEを押してタイマーをリセットできます。



※計測中のストップ、再スタートは何回でも繰り返すことができます。

※タイムアップする3秒前から予告音が鳴り、タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。※鳴っていないタイムアップ音を止めるにはABCDEいずれか1つのボタンを押してください。

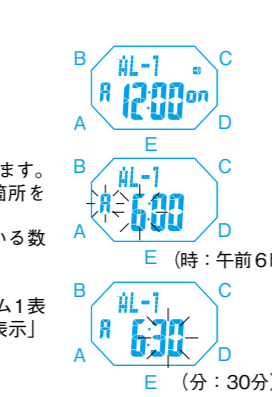
■アラームの使いかた

- 設定した時間（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラームです。
- 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。



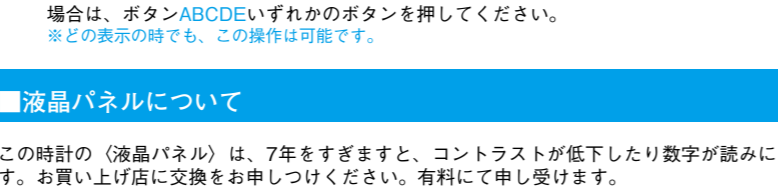
- (2) アラームの使いかた
 - 3チャンネルとも、使いかたは同じです。
 例：「アラーム1」のところで、アラーム時刻を「午前6時30分」にセットする場合
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。
 - ボタンEを押して「AL-1」を呼び出します。
 - ボタンAを長押しすると「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。
 - ボタンEを押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
 - 合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（ボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）
 - ※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - セットが終わりましたらボタンAを押して修正状態を解除して「アラーム1表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラーム1表示」へ自動的にもどります。



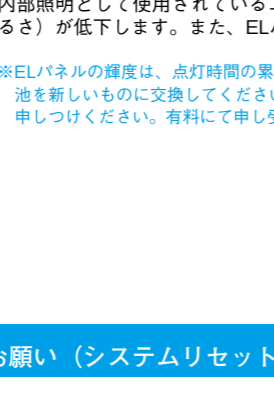
■アラームの使いかた

- 設定した時間（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラームです。
- 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

- (1) ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。



- (2) アラームの使いかた
 - 3チャンネルとも、使いかたは同じです。
 例：「アラーム1」のところで、アラーム時刻を「午前6時30分」にセットする場合
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。
 - ボタンEを押して「AL-1」を呼び出します。
 - ボタンAを長押しすると「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。
 - ボタンEを押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
 - 合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（ボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）
 - ※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - セットが終わりましたらボタンAを押して修正状態を解除して「アラーム1表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラーム1表示」へ自動的にもどります。



この時計の（液晶パネル）は、7年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお願いします。有料にて申し受けます。

この時計の（液晶パネル）は、7年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお願いします。有料にて申し受けます。

この時計の（液晶パネル）は、7年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお願いします。有料にて申し受けます。

この時計の（液晶パネル）は、7年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお願いします。有料にて申し受けます。

- 保証と修理について
 - 手や指などにケガをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
 - ※ご弊舎へご来店などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へ依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱していない場合があります。
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
 - ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

- 補修用性能部品について
 - この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
 - 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■使用上のご注意とお手入れについて

●製品取扱上のご注意

▲警告

- 次のような場合、ご使用を中止してください
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合

- 乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
 - 部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうと危険があります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

- 時計から電池を取り出さないでください
 - 電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。

- この時計はスクューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください
 - スクューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っています。専用のダイバズウォオッチをご使用ください。

▲注意

- 以下の場所での携帯・保管は避けてください
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
 - 高湿度などところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ

- 電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が満液するおそれがあります。

- アレルギーやかぶれを起こした場合は、ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門店にご相談ください。

- 直接蛇口から水かけすることは避けてください
 - 水道水は非常に水圧が高く、日常生活強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

- 水分のついたまま、ボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。
- ※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。

- 水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください
 - 防水時計でもガラスの接着面・バックシートの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。

- 入浴やサウナの際はご使用を避けてください
 - 蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

- その他のご注意
 - 金属バンドの調整は専門知識・技術が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。
 - 手や指などにケガをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
 - ※ご弊舎へご来店などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へ依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱っていない場合があります。

- 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 揚げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

●お手入れについて

- 日ごろおこまめにお手入れしてください
 - 水や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
 - 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
 - 海水中、直接蛇口から水かけるときは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
 - ※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたで確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示
